

122. 地域の助け合い創出と高齢者の生活課題解決を目指すマッチングシステム「えんじよるの」のシステム改修事業

一般社団法人生活互助支援の会 美齊津 康弘

概要

「助けてもらう側」も「助けてあげる側」も手軽に助け合いに参加できるシステム「えんじよるの」を全国の複数の地域で運用試験を開始するために、①マッチングシステム「えんじよるの」を複数の高齢者の生活課題に対応でき、かつ全国各地で使えるようにシステムを改修し、②プレスリリースをにて実施希望団体を募集し、それらに対しシステム導入支援を行い、③地域に「えんじよるの」を定着させていくための実施マニュアルを作成し、各実施団体に配布をした。

結果としては、北海道から奈良県の社協や包括支援センター等の10団体からシステムの利用希望があり、それぞれの団体にオンラインで説明会を実施しシステム導入を行い運用試験を開始できた。また「えんじよるの」はシステムを導入しさえすれば、すぐに助け合いが生まれる訳ではなく、あくまでも地域づくりに取り組む実施団体が、このシステムを上手に活用していくことでその効果を発揮する。そこで今後は運用試験を行っている団体の中から成功事例を集め、それらを分析して効果的な運用方法についてノウハウを集めていく。

三菱財団様からの助成金によって、全国の運営団体がオンラインでスムーズにシステム導入ができるようになった。また買い物代行に加えて8つのメニューを加えることができたため、実施団体にとっては様々な施策を実施するよりも、一つのシステムを導入することで地域の高齢者の様々な生活課題の解決に対応できるようになり、結果的に実施団体の負荷を減らすことができるシステムに改修できた。

背景および目的

日本は超高齢化社会を迎え2040年には高齢者人口がピークを迎える。それに伴い要支援、要介護状態の高齢者も増えてくるため、これら高齢者の生活を支えていくために国は介護保険の財源を介護度が高い重度要介護者に割り当て、あまり支援が必要でない軽度者に対しては日常的な生活支援を地域の助け合いでまかなう方針を打ち出した。これが2017年から全国的に進められてきた地域包括ケアシステムのベースにある考え方である。しかしながら国は2025年までに地域包括ケアシステムの完成を目指すと言いつつも実際には日本中どの自治体も完成は程遠い状態である。その最大の理由は地域包括ケアシステムのベースにある「地域の助け合いによる生活支援体制」が構築できていないからである。ここで「財源がない以上助け合いで乗り切るしかない」という国の方針は理解できるが、問題はどうやって地域に助け合いを広めるかということである。残念ながら国はこの具体的な手段について示していない。

そこで本事業では、助け合いを広めるための具体的な手段としてマッチングシステム「えんじよるの」というWebシステムを作り、それを全国の実施団体に運用してもらうことで、日本中に地域の助け合いを広げようと考えた。

方法

2023年9月より本事業の実施者である美齊津が2019年に開発した買い物に困っている高齢者と地域のボランティアをマッチングさせる「えんじよるの」というWebシステムの改修をスタートした。

半年間の回収期間を経て、2024年4月に新システムが完成。助け合いのメニューの種類を増やし、多くの高齢者が日常生活で困っているさまざまな支援に対応できるシステムにした。また高齢者が抱える生活課題は全国のどの地域でも抱える問題である為、上記改修と同時に日本中のどこであろうとも、このシステムを簡単に導入して運用することができるように改修を加えた。具体的な改修内容は下記の2点。

1 現在の「買い物代行」に加えて「車で外出付添い」「家の片付け・掃除」「ゴミ出し」「見守り・話し相手」「15分以内のちょっとした手助け」「一緒にごはん」「一緒に温泉」「雪かき」の8つの機能を追加

2 実施団体がIDとパスワードさえ入力すれば、全国どこからでもログインできて、マッチングシステムを稼働させることができるシステムに改修

次に改修が完了した後、2024年6月にプレスリリース(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000129908.html>)を行い、全国からモニターとして運用を希望する団体を募った。結果的に全国から下記に示す10ヶ所の団体から応募があり、それらの団体宛にオンラインで説明会を開催して、システムの使用方法や地域での運用方法を伝え、各団体に実稼働を開始する準備に取り掛かって頂いた。

自治体	運営団体名
北海道 中川郡池田町	池田町社会福祉協議会
北海道 札幌市(厚別区もみじ台・青葉・新札幌地区)	札幌市スマートシティ推進協議会
千葉県 松戸市(古ヶ崎・栄町・栄町西)	明第2西高齢者いきいき安心センター
富山県 富山市(呉羽地区周辺)	社会福祉法人陽光福祉会
長野県 伊那市	一般社団法人 福祉 KtoY
長野県 北佐久郡御代田町	御代田町社会福祉協議会
長野県 須坂市	一般社団法人ドリームサポート
神奈川県 足柄上郡山北町	NPO 法人夢キューブ
大阪府 茨木市	合同会社みきケアサポート
奈良県 生駒市(北新町、俵口町の一部(阪奈道路以南)、東松ヶ丘、西松ヶ丘、光陽台)	生駒市社会福祉協議会

2024年10月より準備ができた団体から順次運用試験を開始。現在も運用試験を継続実施中である。

結果および考察

結果

モニター登録団体 10ヶ所

来年も継続利用希望団体 5カ所

製作物

マッチングシステム「えんじよるの」(ホームページ <https://info.enjorno24.com/index>)

えんじょの運用団体向けマニュアル (https://enjorno-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/onelife_enjorno_onmicrosoft_com/EXY7QuzBh_5Ch7lM0s_I1R0BWBD_9eLR3U8A8tjQHJPFuA?e=IPiOAm)

来年度以降の課題

継続実施をする5つの団体より実施データと運用ノウハウを集め、今後「えんじょの」を地域で展開していくための最適手段を見つけ出す。

(完)